

事務事業名	日本さくらの会参画事業		所属部局	農林商工部		単位番号	6216			
	☐ 実施計画事業		所属課室	みどり自然課		課長名	戸栗 香			
			所属担当	花とみどりの推進		担当者名	藤巻 和彦			
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	32 自然と共生する地域づくり	自然環境の保全と活用	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設の維持管理事業	☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業	☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業	☐ 義務化されている協議会等の負担金	01 一般 0 8 0 4 0 6 0 2 0 1 2		
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度)		法令根拠							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)						
	日本さくらの会へ入会し、国の花である、「さくら」を愛する心を広く市民に呼びかけ恒久的な保存、育成及び普及の方法を研究してその推進を奨励し、市内の美化をはかる。			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)						
				その他負担金 10						
				計 10						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	
23年度活動予定	さくらの保存、育成及び普及方法の研究
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
全市民	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
国の花である「さくら」の保存、育成、普及を推進していく。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
生活環境の保全と緑化の推進を進め、市内の美化につながる。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア さくらの植栽されている場所の確認	ヶ所
イ	
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア さくらの植栽されている場所の面積	m
イ	
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 「さくら」に興味がある市民の数	人
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 「さくら」の適正な植栽場所の調査	ヶ所
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
		一般財源	千円			10	10	10	10		
	事業費計 (A)	千円	0	0	10	10	10	10	0		
	人件費	正規職員従事人数	人			1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間			24	24	24	24		
		人件費計 (B)	千円	0	0	95	95	95	95	0	
	(A)+(B)			千円	0	0	105	105	105	105	0
活動指標		ア イ ウ	ヶ所								
対象指標		ア イ ウ	m ²								
成果指標		ア イ ウ	人								
上位成果指標		ア イ	ヶ所								

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成23年度からの新規事業で、国の花である「さくら」を市民に保存、育成、普及を目的に開始された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	緑化に対する意識の高揚と環境美化の意識が高まってきた。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成23年からの新規事業
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	日本さくらの会参画事業	所属部	農林商工部	所属課	みどり自然課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 緑化推進と生活環境の保全の観点から税金を投入しても妥当である。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 国の花「さくら」を市内に保存・育成・及び普及していくことは、緑化推進と環境保全の観点から、今後維持・継続していくことは妥当である。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 日本さくらの会による事業計画のため。
	⑤類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 緑化の推進と生活環境の保全の意識高揚が減少する。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 負担金であるため削減の余地はない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 負担金支払い事務のため人件費は削減できない。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内全体への緑化推進普及と生活環境の保全の推進であるため公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	日本さくらの会参画事業については、合併前に白根町が加入した団体であり、その当時、日本さくらの会から苗木の補助を交付された経過と徳島堰のさくらが表彰された経過があり、そのまま参画している状況である。さくらをはじめとして市民の緑化活動も盛んになっており市内の数箇所ですくらの保全に関わっている団体もあることから、今後も参画していく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
① 日本さくらの会の事業計画であるため、改善余地はない。		(5) 事務事業優先度評価結果																						
②		成果優先度評価結果	⑩																					
③		コスト削減優先度評価結果	⑥																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																								
① 日本さくらの会の事業計画に従っているため、課題・解決策は見当たらない。																								
②																								
③																								